

干潟と保全の取り組み (No. 49)

干潟の名称	大殿洲・西大島新田・夏目・鳥の江・東村・天神		
海域(府県)名*1	備讃瀬戸(岡山県)	エリア名*1	
干潟の面積	ha 出典:【 () 】		
干潟のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 前浜干潟 <input checked="" type="checkbox"/> 河口干潟 潟湖干潟 沖州 人工干潟 その他 ()		
干潟の特徴	砂泥で約半分を細砂が占めている。含水率は概ね25%で、年間を通じて硫化物は0.03mg/g以下である。干潟にはカブトガニが生息し、周辺の一部の砂浜はカブトガニの産卵に適しており、平成21年から毎年自然産卵が確認されている。		
保全の取り組み名称	リフレッシュ瀬戸内(海岸クリーン作戦)		
実施団体名	笠岡市立カブトガニ博物館・笠岡市建設管理課		
連絡先住所	〒714-0043 岡山県笠岡市横島1946-2(カブトガニ博物館)		
代表者名	惣路 紀通	Email	kabutogani@city.kasaoka.okayama.jp
団体会員数	約1,000名	HP	http://www.city.kasaoka.okayama.jp/site/kabutogani/
(活動の概要)	天然記念物「カブトガニ繁殖地」を含む笠岡市の神島水道一帯の清掃活動を行う。毎年、約6トンのゴミを回収することができており、環境保全に繋げることができている。		
(主な活動内容)	種の供給・再生 調査研究 <input checked="" type="checkbox"/> 干潟清掃 研修会・学習会 <input checked="" type="checkbox"/> 他との協同連携 その他 ()		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> 2017年 7月30日 (活動内容) ○海岸清掃 		
	 		

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

関連する生物種等	は希少種
○野鳥: コサギ, チュウサギ, ダイサギ, アオサギ, ゴイサギ, マガモ, カルガモ, カワウ, ウミウ, チュウシャクシギ, イソシギ, イソヒヨドリ, ハシボソガラス, ハシトガラス, ミサゴ	
○干潟の生き物: カブトガニ, イソガニ, ケフサイソガニ, タカノケフサイソガニ, イシガニ, マメコブシガニ, ツノナガコブシガニ, ハクセンシオマネキ, チゴガニ, オサガニ, ヤマトオサガニ, エビジャコ, クルマエビ, ニオガイ, ニッポンマメアゲマキ, シマメノウフネガイ, オリレボラ, オオヘビガイ, マルテンスマツムシ, セキモリ, スガイ, コシダカガンガラ, イシダタミガイ, アカニシ, ツメタガイ, サキグロタマツメタ, ゴマフダマ, ニュウトウタテジマウミウシ, マダラウミウシ, クロシタナシウミウシ, ウミフクロウ, キセワタ, カノコキセワタ, アカエラミノウミウシ, ヤマトウミウシ, イイダコ, ヒメイカ, ミミイカ, タツノオトシゴ, マハゼ, スジハゼ, ボラ, アカオビシマハゼ, ギンボ, イダテンギンボ, ナベカ, イソギンボ, カレイの仲間, ウスバシヤミセンガイ, スズメガイダマン	
○海藻(海草):	
○植物:	
希少種の特徴等	
(希少種が存在しない場合は「希少種は存在しない」と記述。)	
概ね3齢幼生~10齢幼生までのカブトガニ	
	 

干潟と保全の取り組み (No. 50)

干潟の名称	大殿洲		
海域(府県)名*	備讃瀬戸(岡山県)	エリア名*	
干潟の面積	ha 出典:【 () 】		
干潟のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 前浜干潟 <input checked="" type="checkbox"/> 河口干潟 潟湖干潟 沖州 人工干潟 その他 ()		
干潟の特徴	砂泥で約半分を細砂が占めている。含水率は概ね25%で、年間を通じて硫化物は0.03mg/g以下である。干潟にはカブトガニが生息し、周辺の一部の砂浜はカブトガニの産卵に適しており、平成21年から毎年自然産卵が確認されている。		
保全の取り組み名称	海辺の学校		
実施団体名	笠岡市立カブトガニ博物館		
連絡先住所	〒714-0043 岡山県笠岡市横島1946-2		
代表者名	惣路 紀通	Email	kabutogani@city.kasaoka.okayama.jp
団体会員数	約40名	HP	http://www.city.kasaoka.okayama.jp/site/kabutogani/
(活動の概要)	カブトガニの生息している海には、どのような生物がいるのかを小学生を対象に観察・学習する。また、アサリを用いた海水の浄化実験や、当館で育成したカブトガニの幼生放流をおこない、環境学習と命の大切さを学ぶ機会となっている。		
(主な活動内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 種の供給・再生 調査研究 干潟清掃 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会・学習会 他との協同連携 その他 ()		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・2017年 8月 5日 (活動内容) ○海辺の生物観察 ○アサリの浄化実験 ○カブトガニの幼生放流 		
	 		

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

関連する生物種等	は希少種
○野鳥: コサギ, チュウサギ, ダイサギ, アオサギ, ゴイサギ, マガモ, カルガモ, カワウ, ウミウ, チュウシャクシギ, イソシギ, イソヒヨドリ, ハシボソガラス, ハシブトガラス, ミサゴ	
○干潟の生き物: カブトガニ, イソガニ, ケフサイソガニ, タカノケフサイソガニ, イシガニ, マメコブシガニ, ツノナガコブシガニ, ハクセンシオマネキ, チゴガニ, オサガニ, ヤマトオサガニ, エビジャコ, クルマエビ, ニオガイ, ニッポンマメアゲマキ, シマメノウフネガイ, オリレボラ, オオヘビガイ, マルテンスマツムシ, セキモリ, スガイ, コシダカガンガラ, イシダタミガイ, アカニシ, ツメタガイ, サキグロタマツメタ, ゴマフダマ, ニュウトウタテジマウミウシ, マダラウミウシ, クロシタナシウミウシ, ウミフクロウ, キセワタ, カノコキセワタ, アカエラミノウミウシ, ヤマトウミウシ, イイダコ, ヒメイカ, ミミイカ, タツノオトシゴ, マハゼ, スジハゼ, ボラ, アカオビシマハゼ, ギンボ, イダテンギンボ, ナベカ, イソギンボ, カレイの仲間, ウスバシヤミセンガイ, スズメガイダマン	
○海藻(海草):	
○植物:	
希少種の特徴等	
(希少種が存在しない場合は「希少種は存在しない」と記述。)	
概ね3齢幼生~10齢幼生までのカブトガニ	
	 